

# 「地域経済の振興を図るため 中小商工業者への施策拡充を求める要望書」



上越民主商工会(上野正信会長)が市関係課と懇談  
日本共産党議員団が同席

上越民主商工会の上野会長や事務局長をはじめ、役員6人が2月5日に上越市を訪れ、午前10時から約1時間にわたって、「地域経済の振興を図るために市内中小商工業者への施策拡充が必要」だとして、産業振興課や住宅建築課、徴税課等関係する部・課の担当者との懇談を行いました。この申し入れ・懇談には日本共産党議員団の橋爪法一・橋本正幸・上野公悦3市議も同席しました。

申し入れ・懇談内容は以下の通りです。

- ①頻発する自然災害への対策として危険個所や老朽化したインフラの調査とその解消、工事に地域を熟知する地元中小業者を位置付けること。適正な単価を保障する公契約条例の制定など。
- ②「住宅リフォーム助成制度」を次年度においても実施し、使い勝手の良い制度になるように改善すること。
- ③「店舗等改装促進事業」の補助金額の上限を引き上げなど改善すること。
- ④国民健康保険の都道府県単位化による国保税の引き上げを行わないこと。生存権を脅かす強権的徴収はやらないこと。国保税の引き下げと短期保険証や資格証明書の発行を中止し、減免申請を積極的に進めること。所得の無い



- 1 8歳未満の子供は世帯の均等割りから外すなどの処置を講ずること。
- ⑤地方税等の督促や徴収にあたっては、人権や生存権に配慮し、親身で丁寧な対応をすること。納税緩和措置、とりわけ「申請型の換価の猶予」を住民に知らせ活用を図ること。一方的な差し押さえなどの滞納処分を強行しないこと。
- ⑥憲法違反のマイナンバー制度は廃止するよう国に働きかけること。
- ⑦地域経済と地域住民の生活を破壊する消費税増税に反対すること。中小業者に多大な実務負担を押し付ける軽減税率や適格請求書(インボイス)制度の実施に反対を表明すること。

それぞれの担当課長などからは、来年度予算が議会で提案されていないこともあり、詳しくは回答できないと前置きがあったものの、終始和やかにかつ全体的には前向きに懇談が進みました。

市議団は申し入れられたものを尊重し、引き続き前進するよう奮闘します。

# 力合わせて必勝誓う 高田の「新春のつどい」に約100人



2月3日、高田地区後援会主催の「新春のつどい」が約100人の参加で盛大に行われました。市民と野党の共闘を象徴するように、多くの市民のみなさんのスピーチや各野党からのメッセージなどで、「上越から与野党逆転を」「原発・消費税増税ストップ」「そのためにぜひひららぎ哲也を県政へ」と誓い合いました。

挨拶に立ったひららぎ哲也予定候補は、「原発は子や孫にまで害を及ぼすので絶対に許せないという声をいただいた。なんとしても再稼働を許さず、なくすために全力でがんばる。自民党が3人では停められない。ぜひ野党の3人をそろって県政に送ってほしい」と訴えました。応援に駆けつけた武田良介参議院議員は、「統一地方選で勝利し、参院選で自民党を大敗させれば、消費税の増税も止められる。ともにがんばろう」と、支援を訴えました。

参加した橋本議員は、「ひららぎ予定候補は、来年度の予算要望で、花角知事に対して原子力災害と豪雪などが重なった際の避難計画の策定を求めたが、知事はそれを受けて早速計画に反映させるようになった。このように議席獲得前に県政を動かしたひららぎさんをぜひ県議会で送ってほしい」と、この間の実績を交えて訴えました。

**日本共産党上越市議員団ニュース**  
No.621 2019年2月10日

連橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)  
絡橋本 正幸 080-1980-9855 (三和区鴨井)  
先上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)

**議員団の「新春の集い」**

北部 (上野) ブロック (合同開催)  
東部 (橋爪) ブロック  
2/10 午後3時~くびき希望館

中部 (橋本) ブロック  
2/17 午前11時~憩いの家